

福田みらいあるプラン

< 概要版 >

平成28年
(2016)
3月

1 計画策定の趣旨

- 福田地区は、大和地域の中心部である下徳良地区、世羅町中心部に近く、生活利便性に比較的恵まれています。また、美しい農村景観が広がるとともに自治振興会などの活動が活発な地区です。
- このような環境に惹かれて1ターンする人がいる一方で、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化、少子化が進行し、地区活動の担い手の不足などにより、地区の活力が失われてきています。
- こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。
- このため、福田自治振興会では、三原市中山間地域活性化事業を活用し、誰もが誇りを持ち、自慢できる地区づくりを目指して「福田みらいあるプラン」の策定に取り組みました。

福田地区の位置



2 計画策定の取り組み

- 福田自治振興会では、各種団体の代表者などとともに「福田地区地域計画策定委員会」を設置し、「福田みらいあるプラン」の策定に取り組みました。
- 計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民（16歳以上）、小・中学生（小学4年生～中学3年生）及び地区出身者へのアンケート調査の実施、地区住民全員を対象とした意見交換会（ワークショップ）を行いました。



計画策定体制

福田地区地域
計画策定委員会

・自治振興会役員
・各種団体の代表者
など

三原市の支援

計画策定の流れ

(1) 計画策定の進め方の検討

(2) アンケート調査

(3) 意見交換会
(ワークショップ)

(4) 計画案の協議・とりまとめ

(5) 計画の決定

3 地区の活性化計画

地区の将来像

固い絆で支え合い,笑顔輝く元気な“福田”

地区づくりの基本方針

- 基本方針1 地区特性を活かしたビジネスが活発な地区
- 基本方針2 強い絆の中で誰もが安全で快適に暮らす地区
- 基本方針3 交流・移住の活発な地区

地区づくりの基本計画

1 フルーツロードを活用した観光交流の活発な地区づくり

<農産物直売所の運営>

- フルーツロードの通過客をターゲットにした農産物直売所の設置・運営（軽トラック市の運営から始め、段階的に農産物直売所、交流施設などの整備）

<都市住民へ多様な体験交流の場の提供>

- 市民農園、体験農園の整備、農家レストランの設置・運営
- ため池一帯の釣り場環境の整備、里山を活用した交流の場（栗園等）づくり、運動広場のフットサル場としての活用

<福田地区のPRの推進>

- フルーツロード沿いへ案内看板、地区を印象づけるイルミネーションなどの設置
- インターネットを活用した観光交流情報の広域的な発信



2 農業の6次産業化を推進する地区づくり

<農地保全対策の推進>

- 行政、農協、生産者の連携による有害鳥獣対策の推進と猟銃免許取得補助、捕獲罠の設置などの推進
- 福田地区中山間地域振興組合、福田保全会などの組織による農地管理の充実と共同運営組織の育成

<地区を挙げての農業の6次産業化の推進>

- 共同運営組織と連携した農業の振興と6次産業化の推進
- 農産物直売所での直売、消費者への産直、インターネット販売など多様な販売ルートの開拓
- 地元企業（漬物製造）などと連携した特産品の開発、製造

<その他の取り組み>

- ジビエ料理（イノシシ肉等）レストランの開業などの検討



3 子ども、若者に魅力ある地区づくり

<若者の定住、移住の促進>

- 情報通信基盤（光回線）を活かした移住の促進，地元企業と連携した若者の就業の場づくり
- 行政と連携して地区の空き家を提供できる仕組みづくり

<地区を挙げての子育て環境づくり>

- 中心部へ子どもが安心して遊ぶことができる広場づくり
- 歴史文化の継承，農林業体験の提供などによる地区に愛着と誇りを持つ子ども，若者の育成
- 学習塾の設置・運営の支援と地区を挙げての子育ての推進



4 高齢者が安全・元気に暮らせる地区づくり

<高齢者の生活支援>

- 一人暮らしをはじめとする高齢者のみの世帯に対する声かけ，見守り体制の充実
- 大和ふれあいタクシーの利用促進，運行の充実と地区で自家用車を運転できない高齢者を送迎する仕組みづくり
- 地区内移動販売の働きかけ，弁当の配食の検討

<高齢者の生きがい活動の増進>

- 健康体操やウォーキングの会の開催，長寿会及び福々えがお（高齢者サロン）の周知，活動の魅力化などの推進
- 高齢者に対する趣味教養活動の場の提供，高齢者の知識，経験（地区の歴史文化，農林業等）の子どもへの伝承

<高齢者の就業の推進>

- 元気な高齢者が収入を得られる場（農林業，都市住民との交流，高齢者の介助等）の確保



5 暮らしやすさと強い絆で結ばれた地区づくり

<暮らしやすい生活環境づくり>

- 安全な交通環境の確保（信号機の設置，速度制限等）
- 防犯灯の設置による夜間における歩行者の安全の確保
- 地区環境の定期的な管理による美しい田園景観の保全
- 農産物直売所一帯への日用品店舗の設置・運営の検討

<住民相互の強い絆づくり>

- 情報の共有と組織間の連携の強化，交流拠点の整備などによる地区活動の活性化と緊密な近隣関係づくり
- 自治振興会の活動資金の確保（収益事業の展開）
- 「地区行事検討委員会（仮称）」の設置による地区行事の総合的な見直し

<地区出身者との交流の推進>

- 地区出身者への情報発信，地区行事へ参加の働きかけ，農林地，住宅の管理に係る相談支援
- 帰郷の働きかけと帰郷に係る相談支援



4 計画の推進体制

① 計画の周知，取り組みへの参加の働きかけ

- 「福田みらいあるプラン」の概要版の全戸配布
- 自治振興会及び関係組織の会合で「福田みらいあるプラン」の説明会の開催

② 計画の推進体制づくりと段階的な取り組みの推進

<計画の推進体制づくり>

- 元気な住民全員の参加による地区づくり推進体制の確立（特に，若い世代の参加の働きかけ）
- 福田地区の各種団体との連携を強化し，一体的かつ幅広い活動の推進
- 人材バンクの設置，登録による適材適所の人材活用

<段階的な取り組みの推進>

- 優先的に行う事業を検討し，段階的な取り組みの推進

<取り組みへの多様な担い手の参加の確保，人材の育成>

- 住民，各種団体，企業などとの連携の強化
- 地区出身者及び都市住民の応援，三原市などの支援の活用
- 講習会，研修会，先進地視察などの実施による人材の育成



③ 情報の受発信体制の確立

<地区内向けの情報発信>

- 「福田新聞（仮称）」の発行
- 若者世帯などに対してインターネットを活用した情報の発信

<地区外向けの情報発信>

- インターネットを活用した福田地区の情報発信体制づくり

<人材の確保>

- 福田自治振興会のホームページを管理，活用できる人材を確保，育成



<問い合わせ先>

福田自治振興会（福田地区地域計画策定委員会）